

かがやき新聞 北区

平成29年 9月号

今月のトピック

■小野郷移住促進委員会



小野郷移住促進委員会で、移住を希望する方に小野郷の空き家を紹介するホームページを作成しました。

「小野郷空き家バンク」
<http://onogo-akiyabank.liblo.jp/>

現在、掲載している空き家は、2軒ですが、所有している方の許可がとれ次第、随時掲載物件を増やしていきます。家屋に家具などの荷物があっても掲載は可能です。掲載を希望される方は小野郷移住促進委員会・かがやき隊の金井までご連絡ください。

並行して、京北の移住相談コーナーを通して見学に来られる移住希望者への案内も行っています。

小野郷で空き家をお探しの方がおられたため、電話相談を行いました。希望に叶う物件がなく、ご紹介することができるできませんでした。紹介できる空き家がたくさんあれば、という思いです。

■移住の教科書 作成

移住希望者に案内を行うにあたって、これまで作成していた観光向けの冊子以外に、移住希望者に向けた移住の手引きとなる冊子が必要になつてきました。

そこで、移住促進委員会の活動として「小野郷に移住したい」「京都で移住を考えているけど、どこにするかは決めていない」といった方向け、小野郷を紹介する冊子の作成を考えています。

すでに手引きを作成している、南丹市や歌山の紀美野町などの地域の冊子を参考にしながら、佛教大学の学生さんと協力して作成を進める予定です。

かがやき隊活動報告

■地域おこし協力隊合同研修

8月9日は、中国5県地域おこし協力隊合同研修に参加してきました。「地域おこし協力隊」とは、全国で行われている、かがやき隊と同じ活動をする方です。中国地方は地域おこし協力隊の先進地で、例えば島根県では8年前から活動を開始しており、現在200名以上の隊員がいっぱいいます。これらの先進地の取り組みを伺ってきました。

隊員の任期内に、蕎麦屋やマルシェを開業したり、オリーブ栽培や移住コンシェルジュをされる方もいました。色々な報告を受け、成功している方は地域の特性や特産物うまく利用されていると感じました。私も皆さんから伺った北山の特性を、うまく形にしていければと考えています。

★ご連絡はこちらまで

京都市北部山間かがやき隊北区担当 金井亮介
Mail: kagdc308@city.kyoto.lg.jp
tel: 075-406-2004

各学区の取り組み

■雲ヶ畑 盆踊り大会・松上げ



8月14日は雲ヶ畑の盆踊りがありました。奈良出身の私は、盆踊りを見るのも踊るのも初めてです。ここでは江州音頭で踊られるようので手と足がうまくついていきませんでしたが、地域の方は上手に踊られていました。



24日には、伝統行事の「松上げ」が行われました。京都ではあちこちで松上げが行われていますが、雲ヶ畑では文字の形に組んだ薪に火をつけるのですね。今年は「王」と「竹」の炎の文字が上がりました。写真ではうまく撮れませんでした。

★雲ヶ畑地域の方がラジオ出演

毎月第一木曜日 午後3時15分、FM87.0 ラジオミックス京都「グローバル京都いきいき北区情報コーナー」インターネット、スマートフォンで試聴可能です。

■中川 杉の学校

8月9日に「杉

の学校」が行われました。これは小中学生を対象とした、工作などを行うイベントです。当日、私は行けなかったのですが、たくさんの方が参加されたようです。北区長もお越しになりました。



当日は教室で北山杉の勉強をした後、中川八幡宮でシロスギの見学や、スギの皮むき、菩提の砂を使った丸太磨きなどをされました。お昼ごはん時には自分でサバを焼いた

そうです。私も以前に頂いたことがありましたが、自分で焼いたサバの味は格別です。

おいしいお昼ごはんや、中川の文化を味わい、きつと夏休みのよい思い出ができたことと思います。



■小野郷 夏祭り・地藏盆

8月15日に、小野



郷小中学校で夏祭りが行われました。当日はあいにくの雨だったので盆踊りは行われませんでした。露店が出店し、たくさんの方が参加されました。私も焼き鳥

とフランクフルトの露店を手伝わせていただきましたが、次々にお客さんが来てくださりとても目まぐるしく、あっという間に時間が過ぎた感じがしました。そのせいか、お祭りのビールは普段以上の飲み応えでした。

23日には大森で地



蔵盆がありました。盆踊りもそうですが、私、地藏盆に参加するのも初めてでした。あちこちの祠に提灯がともされ、皆さんが集まってお話をされてお話し、とてもお盆らしい感じがしました。